

大志



恵那市山岡町下手向182-4 TEL 56-2614

新年 明けまして おめでとうございます

校長 河合 広映

令和4年が始まりました。今年のスタートも新型コロナウイルスの話題は尽きず、第6波の到来によって岐阜県も県独自の非常事態宣言を出し、そして、まん延防止等重点措置も適用されました。「1月の後半から2月にかけて、もうひと波来るぞ。」とはいわれていましたが、それが現実となった今、また、多くの活動が制限されることになります。これから力を入れて頑張ろうとしていた「合唱」もまた、ここで止めなければなりません。

12月、音楽室から「大地讃頌」の歌声が聞こえてきました。何かその歌声が懐かしく音楽室まで見に行くと、3年生が美術室やパソコン室などに分かれてパート練習を行っているところでした。例年、この時期になると、中学校では大地讃頌の歌声が響きます。そして、大地讃頌が聞こえてくると「ああ、いよいよ卒業式か。」という感覚になり、「卒業」という言葉を意識するようになってきます。中学校経験の長い教員は、「母なる 大地の～」と聞こえてくると思わずどこかのパートを歌いたくなるものです。マスク越しですが、一生懸命歌っている3年生に混じって声を出してみました。今まで覚えていたパートが実は違うパートだったということに気づきました。鼻歌でテナーパートを歌っているといつの間にかバスのパートになっていたこともよくあり、きっとそのせいで正しいパートの音程が分からなくなり、そのままになっていたのでしょう。前の時間には、教務主任もどうやら練習に現れ、おもむろにパート練習の指導を始めたことも聞きました。その日の帰りの会には、歌声を聞きつけ、幾人もの先生達が練習を見に来ました。合唱は人を引きつけ、そして、一つになれる力があることを改めて感じる事ができた12月のワンシーンでした。



今年こそは、卒業式に合唱を歌いたいという願いをもち、3学期の始業式後から3年生は「河口」のパート練習に取り組み始めました。「河口」も名曲・大曲のため、3年生がどのように仕上げてくるのかを楽しみにしていましたが、その高揚していた気持ちを打ち砕くまん延防止等重点措置の適用となってしまいました。また、学校に歌声が響き渡る日が早く来ることを切に願います。早く終息することを祈るばかりです。

暗い話ばかりで新年を迎えることもあまりよくはありません。今年は「壬寅（みずのえとら）」。「壬寅」の年は、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年で、「新しく立ち上がる」「生まれたものが成長する」といった縁起のいい年になるそうです。「信念の力」というアメリカの成功哲学の第一人者、ナポレオン・ヒルの詩に『私はできる』そう考えている人が結局は勝つのだ」という言葉があります。「諦める一步先に必ず宝がある」と信じ、逆境に負けない強い気持ちをもって前に進み、今年こそ、コロナウィルスを克服して誰もが新しく立ち上がる年にしたいものです。

山岡中ギャラリー

最近になり、急速に新型コロナウイルス感染症の拡大となったため様々な行事が中止や延期となっております。恵那市の美術展もそのうちのひとつです。

そこで、生徒作品の展示を校内にできるよう、準備を進めています。

感染拡大が収まり、様々な制約が解除されましたら是非、保護者の方に見ていただきたいと考えています。



【行事予定】※今後、予定の中止や変更の可能性もあります。随時 HP 等でお知らせします。

2 月 予 定			3 月 予 定		
1	火		1	火	
2	水		2	水	
3	木		3	木	公立高校第一次選抜第 1 日目
4	金	授業参観・立志式（2 年）	4	金	公立高校第一次選抜第 2 日目
5	土		5	土	
6	日		6	日	
7	月		7	月	学校保健安全委員会
8	火		8	火	
9	水	結心の会	9	水	
10	木		10	木	卒業式総練習、準備
11	金	建国記念の日	11	金	卒業式
12	土		12	土	
13	日		13	日	
14	月		14	月	生徒集会
15	火		15	火	命を守る訓練
16	水		16	水	
17	木	1, 2 年生期末テスト	17	木	
18	金	スケート教室（午後）	18	金	公立高校第一次選抜追検査
19	土		19	土	
20	日		20	日	
21	月		21	月	公立高校第一次選抜合格発表
22	火	学校運営協議会	22	火	
23	水	天皇誕生日	23	水	
24	木		24	木	公立高校第二次選抜
25	金	結心の会	25	金	修了式
26	土		26	土	
27	日		27	日	
28	月		28	月	
			29	火	
			30	水	
			31	木	